

計画年度 平成27～29年度

# 担い手の育成・確保

中部農業事務所 伊勢崎地区農業指導センター

# 1 課題設定の背景及び理由

## (1) 就農形態が多様化している

就農形態と年次別新規就農者数(45歳以下)

	親元就農	内 訳			新規参入	雇用就農
		即就農	研修後 就農	Uターン		
H24	10	3	2	5	6	3
H25	14	0	2	12	0	7
H26	13	3	1	9	0	5

## 【背景】

Uターンや新規参入、雇用就農の増加

就農希望者の増加

相談窓口の認知度があがった

## 【理由】

就農希望者が農業者になるために・・・

新規就農者が5年後、10年後も営農を続けるには・・・



地域ぐるみでの定着支援が求められている  
就農の意欲と能力を兼ね備える事が大事

## (2) 女性農業者の育成

### 【背景】

女性が農業就業人口の過半数を占めている

若手女性農業者が孤立化している

### 【理由】

女性農業者の役割の高まり、活躍への期待

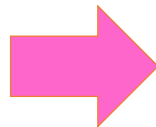
	H24	H25	H26
家族経営協定締結数(戸)	154	158	169
女性認定農業者数(戸) (共同申請含む)	6	6	8

## 2 主な推進課題と解決手法

### (1) 地域ぐるみでの就農支援

#### ア 就農促進

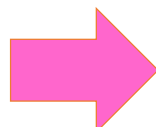
就農相談



ワンストップ窓口  
担い手協で情報共有

#### イ 定着支援

新規就農者の集い  
農業基礎講座  
重点的な支援



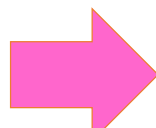
担い手協で応援

### (2) 農業青年の組織活動支援

#### ア プロジェクト活動

#### イ 新規就農者の加入促進

#### ウ 研修会の開催



仲間づくり  
意欲と能力の向上

### **(3) 男女共同参画活動の支援**

#### **ア 農村女性会議の活動支援**

**農村女性組織9団体の連携、資質向上**

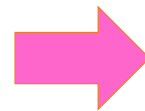
#### **イ 家族経営協定締結の推進**

**女性農業者の役割の明確化**

### **(4) 若手女性農業者の掘り起こしと育成**

#### **ア 女性農業者の交流会**

#### **イ 育成セミナーの開催**



**経営と社会参画意識の向上**

### 3 到達目標(目標年次の姿)

項目	年次	H26 (現状)	H27	H28	H29
新規就農者数(人) * 45歳未満		18	20	20	20
新規就農者定着率(%) * 就農5年目、45歳未満		81	85	90	95
家族経営協定締結数(戸)		162	166	170	174
若手女性農業者ネットワーク数		0	0	0	1

# 4 活動経過及び結果

## (1) 地域ぐるみの就農支援

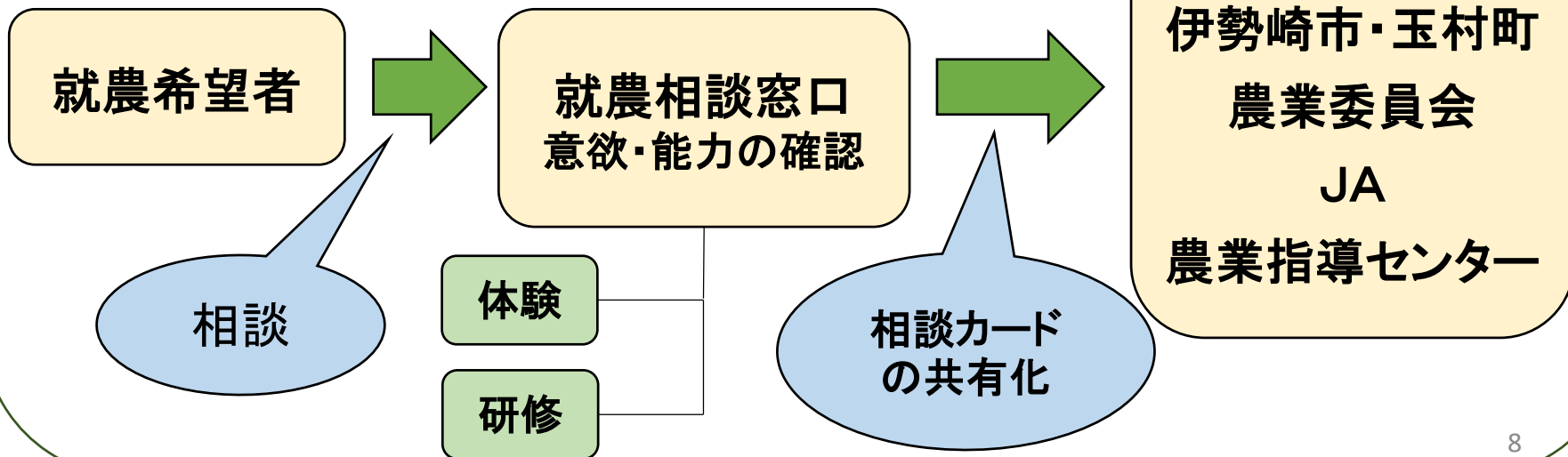
就農前

担い手協

【ワンストップ窓口】

相談を受けた機関が、農業関係機関に情報提供を行い共有化する。

就農が具体化したら、相談会を開催





## 就農相談会

### 関係機関と就農希望者との面談

- 就農意欲・能力の再確認
- 就農・営農計画への助言
- 農地の情報提供
- 就農資金の相談

## 関係機関の役割

農業指導センター

研修先の紹介  
就農計画作成支援  
栽培技術支援

伊勢崎市・玉村町

就農認定  
農地の利用権設定

農業委員会

農業委員をサポートに。  
農地の斡旋

JA佐波伊勢崎

営農販売支援  
資金・生産資材の相談

# 就農後

## ア 新規就農者の集い

目的 新規就農者への激励・応援

内容 首長より激励、先輩農業者の視察

農業経営士からのアドバイス

4HCやJA青年部の活動紹介や加入促進

農業施策等の紹介



先輩農業者の視察



新規就農者の集い

# イ 農業基礎講座の開催(全6回)

目的 基礎的な知識・技術の習得

内容

- 農地の取得・貸借の仕方
- 土壌・肥料の基礎知識
- 野菜栽培の基礎
- 農薬の適正使用
- 農作業安全・農業機械の操作
- 農業経営管理・流通の仕組み



実習(ホウレンソウのは種)



実習(農業機械操作)


## (2) 新規就農者の定着支援

- ア 新規就農者を重点的にフォローアップ  
営農支援カルテを活用した課題解決で定着支援  
(給付金受給者、資金借受者等)

### 重点支援農家の状況

	H27	H28	H29	実人数
重点指導対象農家	14	15	14	20
農業次世代人材投資資金 (青年就農給付金)活用者	14	15	10	18

# 重点支援農家の営農支援カルテ



ver2

## 営農支援カルテ


新農業  
スタートダッシュ

支援事業

事務所名 伊勢崎地区農業指導センター

No.	1	支援開始年度	平成25年度	平成25年度=「25」 平成26年度=「26」
氏名				
住所				
経営内容	施設トマト、米	例)施設トマト、リンゴ		

就農認定日	平成21年12月5日	就農日	平成23年4月1日
-------	------------	-----	-----------

資金借受日	平成24年12月5日	2012/12/5 h24.12.5 など	
借受金額	10,000 千円	1,000千円=「1000」	
導入施設等	トラクター、軽トラック、管理機		

年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
担当者氏名					
現状チェック表	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
経営状況表	経営状況経		総括表		総括表
支援状況表	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目



# 農林水産省HPに掲載された優良事例農家

群馬県伊勢崎市

農業次世代人材投資資金  
(経営開始型)

## 小林 章悟 さん (32歳) (営農類型：ニラ)

### 新規就農までの経緯・背景

保育士資格を取得し託児所経営をしていたが、近隣農家から地域の農業者の高齢化の話を聞き、農業への転職を決意。先進農家で半年間の研修中に、農業の可能性や独立志向への想いが日増しに強くなり、平成24年に就農。

### 経営発展のポイント

- 地元の青年農業者の会やJA青年部に所属することで、幅広く情報を収集するとともに、試験圃場を設置して栽培技術を改善。
- インターネットを活用し、トラクターを中古で導入したり、資材の廉価品を調達するなど、運転資金に負担をかけない経営を実践。
- ぐんま農業フロントランナー養成塾に参加し、群馬県の経営指導を受けて経営計画を作成・実行。
- 先進地調査等を行い、栽培技術向上により多収量を実現し、業務用の契約栽培により周年出荷体系を構築。

### 資金の活用事例

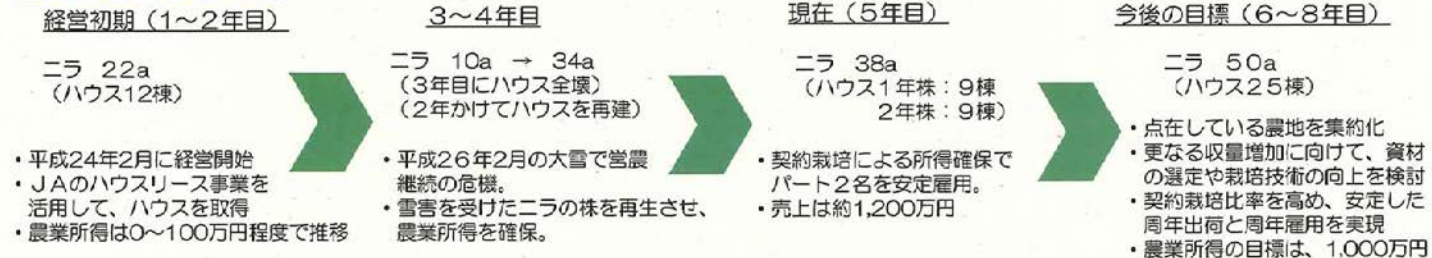
- 経営初期の運転資金や生活費の支えとなった。
- H26年2月の雪害の際には、資金があったお陰で、営農を継続することが出来た。



### 今後の取組

- 契約販売、農協及び個人店など幅広く販路を開拓し、安定した収入を実現する。
- 農業の可能性を広く伝えていき、将来は人材育成を図りたい。

### 経営の推移と今後



### (3) 農業青年の組織活動支援

ア 目的 活動をとおしての仲間づくり  
仲間や先輩との情報交換や研修会

イ 内容 新規就農者との交流会  
基礎技術の習得  
(土壌分析、土壌調査、土壌肥料の基礎)  
先輩農家(農業経営士・先進農家)の訪問研修  
情報交換  
実績発表会への参加



## (4) 男女共同参画活動の支援

### ア 農村女性会議の活動支援

目的 農村女性の社会参画の推進  
農村女性組織9団体の連携

内容 農政講演会  
優良事例研修会  
視察研修会



# 佐波伊勢崎農村女性会議体制図

(会員) 佐波伊勢崎の農村女性団体及び賛同する個人の加入

平成30年6月1日現在

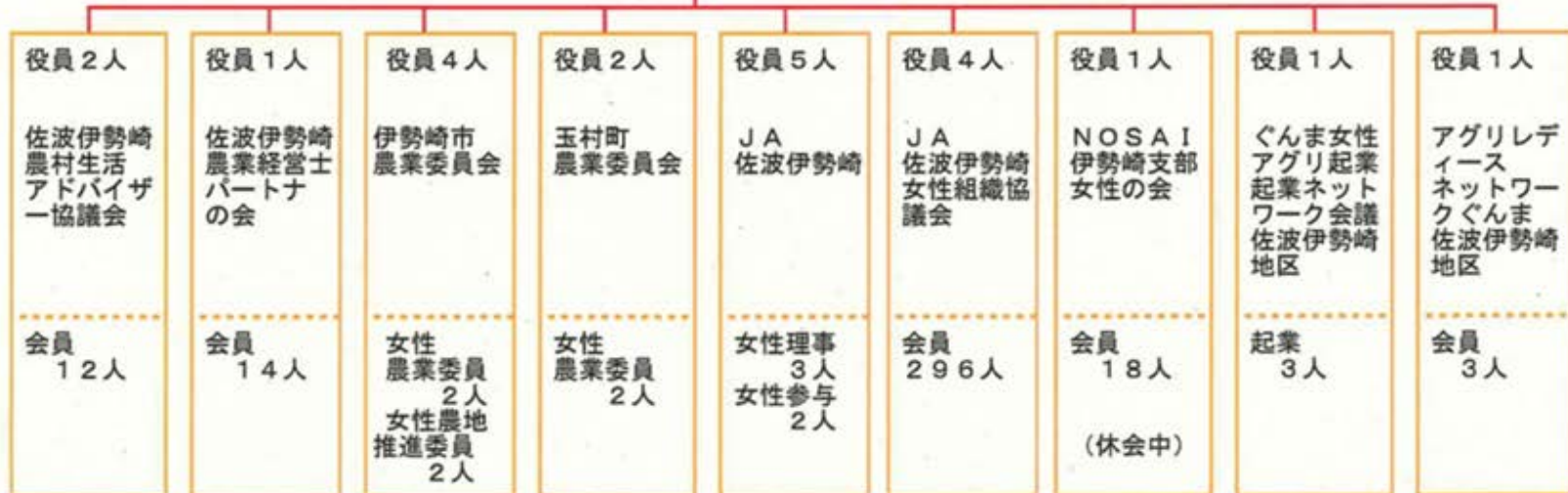
- (目的)
- ①農村女性の社会参画
  - ②農村女性組織の連携、推進
  - ③後継者を育て、魅力ある農業経営の実現

## 佐波伊勢崎農村女性会議

(平成18年10月27日設立)

9 団体

のべ会員357人



### <支援体制>

伊勢崎地区農業指導センター・伊勢崎市・伊勢崎市農業委員会・玉村町・玉村町農業委員会  
JA佐波伊勢崎・NOSA Iぐんま伊勢崎支所



**H28 女性農業者優良事例研修会**  
**「私の歩んできた道～農家の嫁から**  
**地域を変える女性農業者へ」**  
**講師 埼玉県 女性農業委員**



**H29 農政講演会**  
**「新しい農業委員制度について」**  
**講師 群馬県農業会議**

# イ 家族経営協定の推進

家族経営協定の事例研究

家族経営協定の締結支援

視察研修会

「家族経営協定の取り組みについて」

視察先 みなかみ町



# (5) 若手女性農業者の育成

## ア 農業女子交流会の開催

目的 交流の場を提供して若手女性農業者の掘り起こしとネットワークづくりを推進

内容 農業に意欲的に取り組む若手女性農業者の活動事例を紹介



農業女子情報交換



フラワーアレンジメント



# イ 農業女子フレッシュセミナーの開催

**目的 若手女性農業者の経営参画・社会参画を促進する**

**内容 農作業安全・農業機械操作  
農業簿記の基礎  
農産加工技術の伝承  
認定農業者・家族経営協定等  
知識と技術を高める**



ハウス内での安全なトラクター操作実習



農産加工技術の伝承

# 目標項目と活動実績

年次	H26		H27		H28		H29	
	(現状)	(目標)	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(実績)	
新規就農者数(人) ※45歳未満	18	20	20	22 [20]	18	22 [20]	24	
新規就農者定着率(%) ※就農5年目、45歳未満	81	85	70	90	70	95	75	
若手女性農業者ネットワーク数	0	0	0	0	0	1	0	
家族経営協定数(戸)	162	166	169	173 [170]	178	182 [174]	180	

## 5 残された課題と今後の対応

### (1) 地域ぐるみの就農促進

担い手協を核にすすめることを継続していく

### (2) 新規就農者の定着支援

ア 地域になじむことが重要

イ 農業青年組織の加入は地域になじむ近道

ウ 農業経営士や農業委員をサポートに加えた体制を整備

エ 重点指導を効率的、効果的にすすめる。

### **(3) 男女共同参画の推進**

農村女性会議を核として、活動支援を継続し、女性パワーを結集して男女共同参画を進めていく。

### **(4) 若手女性農業者の育成**

若手女性農業者の孤立化にブレーキをかけることができた。今後は点を線、面に結びつけていく。